

令和6年度 京橋朝海幼稚園 自己評価報告書

園 名：京橋朝海幼稚園

所在地：中央区築地2-13-1

園長名：眞家 順子

園児数 35名

学級数 3

教員数 4

職員数 9

1 重点目標の達成状況及び取組状況

幼稚園評価を12月に実施する。回答者数は30人で86%の回答率となった。

重点目標の全ての姿が、よくあてはまる、あてはまるで90%の回答を、保護者からいただいた。

よくあてはまる

あてはまる

あまりあてはまらない

あてはまらない

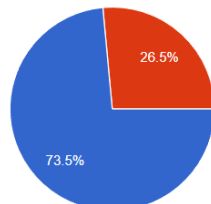
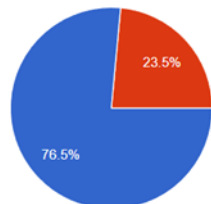
わからない・無回答

【重点目標1 自然環境の中で知的好奇心を育む】

評価指標：

自然物や飼育栽培物等、命ある対象との関わりを楽しみ、大切にしようとしているか

諸感覚（視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚）を通して直接体験から、多様な気づきを得て、意欲につながっているか。



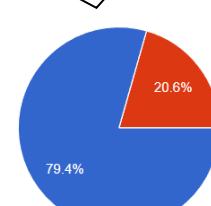
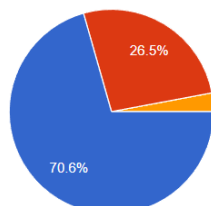
都会の中でも、自然と触れ合う経験ができるように、環境を整えてきた。遊びの一つとして季節ごとの栽培物、メダカやカブトムシの生き物等、世話をする経験が楽しめるようにしてきた。世話をする中で、植物の生長を見たり触れたり、嗅ぐなどして、気が付いたことを教師や友達に伝える姿につながった。また、愛着をもつ姿も見られるようになったが、興味のもち方には個人差が見られた。そのため、教師が興味・関心を引き出せるような援助を大切にしてきた。また、種蒔きの時期を逃すことがあったため、次年度は、教育計画に栽培計画を載せ、教師が見通しをもち実施していく。

【重点目標2 人と関わる力を育む】

評価指標：

自分のやりたいことを実現させながら、友達との関わりを楽しんでいるか

園内の異年齢交流、異校種交流、外部との各種交流を通して、様々な人がいることを知り、話題にしたか。



今年度も、行事に必要なものを幼児が自分たちから気づき、買い物に行く必要感をもてるように援助することで、園内外の人との交流が複数実施できた。また、小学生や地域の人との交流の様子を保護者にも伝えていくことを重視したことで、半数以上がよくあてはまるとの評価であった。

また、日頃から遊びの中でも異年齢が混ざって遊びができる環境や雰囲気大切にしていた。

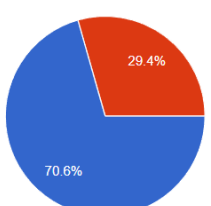
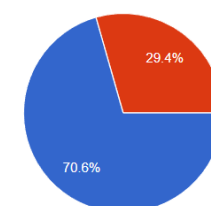
特定の異年齢交流に止まらないように、保育活動としても三学年のグループを組んで、継続的に交流することで関わりを深めた。

【重点目標3 健康でたくましい体をつくる】

評価指標

食に関連した環境（すくすくボタジェ）に興味をもって関わりを楽しんでいるか

運動遊び（かけっこ、リズム、鬼ごっこ、ゲーム、巧技台、ボルダリング、ロープ等）の取組を通して、以前より進んで体を動かすことを楽しんでいるか。



栽培活動で収穫した野菜を複数回、調理して会食することができた。単発でなく継続して会食できたことで、苦手な野菜を食べてみる意欲につながり、自信となっている言動が幼児から保護者に伝えられていた。また、降園時に担任から保護者に話したり、オンラインで知らせたりして、預かり保育の保護者にも伝わるようにした。

近年、握力の数値が下がってきているため、園内の遊具を計画的に遊ぶ機会を設けてきた。保護者とも、運動遊びの取組の様子を共有し、成長を共に喜べるようにしてきた。また、今年度は親子で運動遊びの機会を複数実施してきたことが、体の動きの変化を感じることにつながった。

2 重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況

昨年度、重点目標以外の自己評価における達成状況及び達成のための取組状況において、よくあてはまる、あてはまるとの回答数が90%以下であった設問が以下である。

- 問 11：幼稚園は保護者にとって相談がしやすく、親身になって対応している。
問 12：幼稚園は家庭への連絡や情報提供に努め、すすんで子育て支援を行い家庭とともに幼児を育てる体制づくりをしている。

そのため今年度、3点の改善を図った。

- ① 仕事をしている家庭にとっては、年間計画予定の情報だけでなく、早めの予定を情報提供として欲していることから、園だよりに当月の予定と翌月の主な行事を加え預かり保育や弁当給食ができない日を伝えていく。
- ② 幼稚園からお知らせしたつもりでも、保護者に伝わりきっていない状況もあったことを踏まえ、伝え方の工夫を図った。保護者の参観がある大きな行事については、早めのお知らせに努め、オンライン、口頭、紙面を併用した。
- ③ 今まで以上に話をしやすい雰囲気を、保護者が感じられるように努め、保護者会、学級懇談会の他、登降園時に幼児の成長の姿を中心に、子育てに必要な見通しや情報が得られるようにした。

その結果、16問すべてにおいてよくあてはまる、あてはまるとの回答数が90%以上の回答が得られた。

3 今後の改善方策

- ① 保護者にとって幼児の成長を感じられることが、幼稚園への信頼へつながる。今後も、降園時、保護者に担任から幼児の遊びや生活の様子を伝えた上で、その様子の写真をオンラインでも送り、幼稚園生活を伸び伸び送っていることへの理解につながるようにしていく。
- ② 今後も、併設小学校と連携・地域との交流を図り、幼児にとって小学校への接続期の生活を保障していけるように努める。
- ③ 就学前の年齢を対象にした未就園児の会と年齢を問わない未就園児の会を、年間を通して定期的に実施し、入園前の地域の子育てセンター的役割を担う。